

仲良川マングローブ林立ち枯れ被害地巡視記録簿

実 施 日 令和 8 年 1 月 28 日 (水)
実 施 場 所 仲良川(西表国有林 146 い林小班)
巡 視 者 小野、田中、津波、赤星

立ち枯れの状況の変化	立ち枯れ木は前年度同様、腐朽が進行しているが新たな折損等は確認されなかった。また、新たな立ち枯れ木も確認されなかった。
地盤の状況の変化	土砂の流入及び P2 付近の山側にオキナワアナジヤコのシャコ塚等があり、陸地化の進行が懸念される。
周辺植生の状況の変化	P2 地点周辺の山側に陸生植物の侵入あり（アダシ、サカキカズラ等）。
稚樹の発生状況の変化	区域全体に複数本確認され、順調に生育（成長）している。
そ の 他	

仲良川マングローブ林立ち枯れ被害箇所

西表国有林146い林小班

定 点 撮 影



調査年月日
令和8年1月28日（水）



仲良川(被害地)

P2 周囲

オヒルギ成木の立ち枯れ(前年度と変わらず)。



P2 周囲(山側)

左奥に見えるシャコ塚やアダン等の侵入が見られ、陸地化が進行している。



P2 周囲(山側)

枯損し幹から折損したオヒルギ(前年度と変わらず)。周囲には稚樹の定着が確認できる。



仲良川(被害地)

林内状況

被害木が倒伏、流出し裸地となった箇所では、稚樹が発生、定着しており順調な生育が見られる。



仲良川(被害地)

林内状況

山側ではアダンやサカキカズラ、シャコ塚等の侵入が見られ、陸地化が懸念される。



仲良川(被害地)

林内状況

倒伏した被害木は現地に残存しており、腐朽が進んでいる様子が見られる。
